渦電流
磁気抵抗

磁気負荷の正確性について「語る」ことは簡単ですが、カイザーは、EN957-10という保証印のついた証明書を発行します。また先んじて、インドアサイクリングバイクに磁気による負荷を利用した第一人者なのです。



バイクのフレームは、各ユーザーの身長に合わせ調整可能

THE M SERIES
M3i
INDOOR BIKE

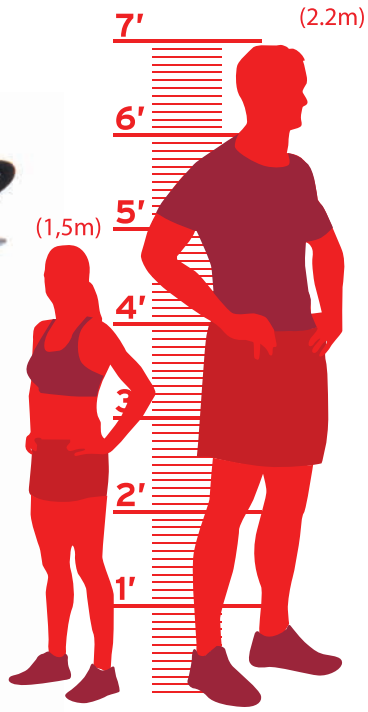
カイザーのバイクM3iはどんなユーザーにも、体重と身長に合わせて調整できます。そのペダルはロードバイクに似た感覚を与えてくれます。

さらに最大限の品質管理を保証するため、全面的に米国で製造される唯一のインドアサイクルです。

カイザーは、インドアサイクルで初めてのV字型のフレームを設計しました。V字型のフレームによりM3iは、まるで別のサイズのフレームのようになり、シートやハンドルをあらゆる身長のユーザーに調整することが可能になったのです。

またカイザーは、ホイールを汗による腐食から防ぐためバイクの後方に配置設計をした最初のメーカーでもあります。





技術的特質

- 磁気による負荷システム
- ワイヤレスによるBluetooth技術搭載
- 改良した単位によるパワーと持続力の計測（ISO-29957-1）
- ペダリング技術を助け、ユーザーすべてに調整可能な新タイプのサドル
- ハンドルとサドルの高さを調整するための「ダブル・アクション」システム
- 移動を容易にする下部の車輪
- ベースフレームにストレッチ用パッド

仕様:

- 高さ:1.143 mm
- 幅 : 660 mm
- 長さ:1.245 mm
- 重量 : 38,56 kg

TÜV SÜD

性能に関する実際のデータ
M3iは正確さと信頼性により世界的に認知されている認証であるEN957-10を受けた初めてのインドアサイクリングバイクです。

THE M SERIES

M3i

INDOOR BIKE



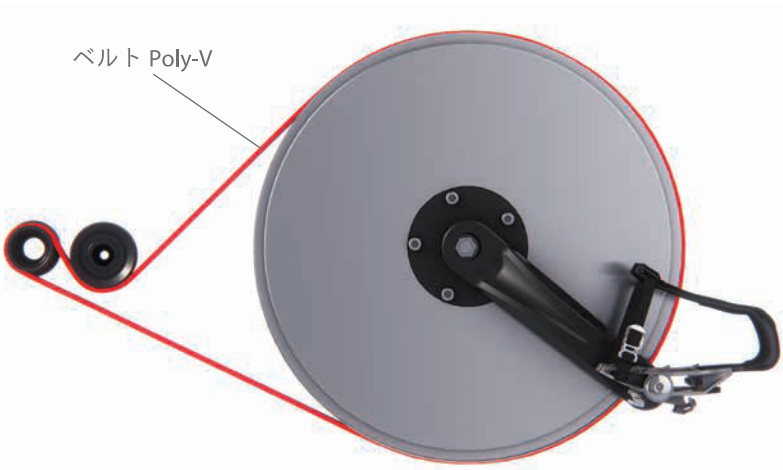
摩擦が少なく、腐食が少なく、メンテナンスの必要が少ない

トランスミッションベルト Poly-V

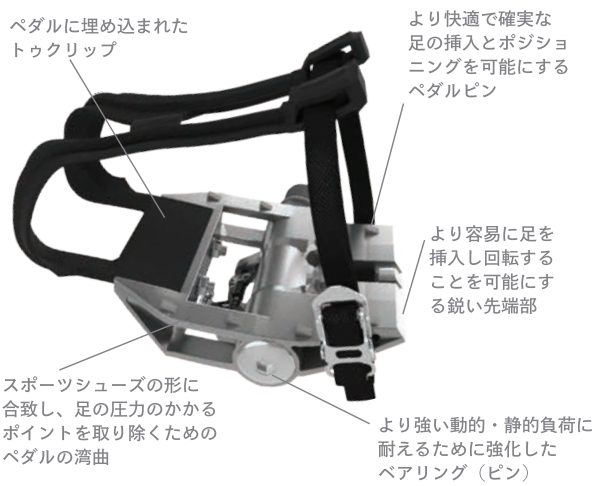
カイザーのバイクM3iのシートに備え付けられているトランスミッションシステムはユニークなものです。このトランスミッションベルト Poly-V は、アルミの車輪を動かすパワー、必要な動力エネルギーそして磁力による負荷を生み出すためのものです。

- 車輪が重力による慣性に頼る必要がない。
- 複雑なミッション装置が必要ない。
- 凹凸のあるベルトが必要ないため、騒音と振動がない。

カイザーのmシリーズは、すべてのユーザーに容易な調整可能さと快適さを、ジムのオーナーには耐久性の高さを、整備士にはよりシンプルなメンテナンス性を提供します。



インドアサイクル専用ペダル







手のマルチポジションが可能なハンドル



スマートフォン、タブレット用マルチメディアホルダー



操作の容易な負荷調整レバー

どんなサイズにも対応可能なボトルホルダー



ハンドルとシートの迅速かつ直観的調整が可能

THE M SERIES

M3i INDOOR BIKE

進化した テクノロジー

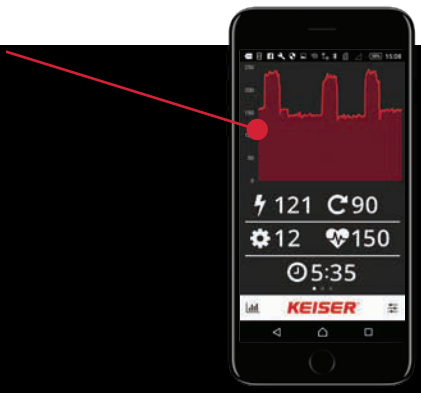




カイザーのバイクM3iとすべてのMiシリーズのラインナップは、システムやアプリケーションに無制限に同時に接続することができます。インストラクターは、カイザーMiシリーズのプロジェクターシステムでデータを受け取ることができ、同時にユーザーは、カイザーMiシリーズのアプリケーションを干渉なく利用することができます。

カイザーは、中央に幅広いコネクターを備えているので、大手メーカーの多くのプロジェクターと互換性があります。





Download on the App Store

GET IT ON Google Play

KEISER m

KEISER m GROUP

互換性のあるもの:

iOniter · Performance IQ · HEART ZONES · ACTIVIOX · FI+ME+RIX · MYZONE · SPIVI · BKOOL Connect | Sport · impowered



迅速なデータ

いかなるスピードのいかなる負荷でもパワーを予測できる初めてのバイクであり、インストラクターもユーザーも、トレーニングの正確なデータを迅速に手に入れることができます。

耐久性の保証

カイザーの厳しい品質管理により、
すべてのM3iは、各バイクの正確で迅速なデータを提供します。

KEISER®

THE M SERIES no.5501PBC

M3 INDOOR BIKE



カイザーmシリーズの中でも人気があり革新的なモデルのひとつ。
mシリーズのラインナップの中で基本となる製品で、mシリーズの中で最も古く歴史のあるモデル。

仕様:
- 高さ:1.143 mm
- 幅 : 660 mm
- 長さ:1.245 mm
- 重量 : 38,56 kg

THE M SERIES no.5510PBC

M3 TOTAL BODY TRAINER



mシリーズの他の製品と同じ磁気負荷システムを備えて設計されています。
m3トータルボディトレーナーは、体全体の効率的なトレーニングを求めるすべての人に完璧に応えるものです。
上半身と下半身を別々に鍛えることも可能です。

仕様:
- 高さ:1,320 mm
- 幅 : 736 mm
- 長さ:1219 mm
- 重量 : 38,56 kg





THE M SERIES no.5600PBC

M5 STRIDER

カイザーm5は上半身と下半身を同時にトレーニングできるこのカテゴリーの中の唯一の器具です。多くの筋肉群をトレーニングし、多くのカロリー消費も同時に可能です。

そのため、負担なく心肺系をトレーニングすることが可能になり、ビギナーから上級者まですべてのユーザーの能力に応えることができます。

m5はコンパクトサイズで、利用も持ち運びも容易です。グループトレーニング用に設計され、フィットネス産業におけるトレンドに乗った最新のマシンです。

仕様:

- 高さ:1,879 mm
- 幅 : 711 mm
- 長さ:965 mm
- 重量 : 61,24 kg



THE M SERIES no.5200BBC

M7i

WHEELCHAIR-ACCESSIBLE TOTAL BODY TRAINER

NOT JUST BETTER MACHINES, BETTER SCIENCE

カイザーは常に最も強力な筋肉、すなわち脳を運動させることによって健康科学の現状に挑戦しています。

性能の競争はマシンの限界内で始まり終わりますが、カイザーは人体の可能性から始め、速度、効率、安全性において限界を作らずスマートな技術を開発し続けています。

KEISER CARDIO



カイザーMシリーズは、革新的な渦電流抵抗（非接触式）リアホイールインドアバイクのパイオニアです。
科学的に証明された一定のカイザー品質が、革新的な新しいペダルを備えたM3iインドアバイクから、エリプティカルのM5ストライダー、そしてM7i車椅子対応のTotal Body Trainerまで、すべてのカーディオ製品に組み込まれています。

M7i
WHEELCHAIR-ACCESSIBLE TOTAL BODY TRAINER



カイザー M7i 車椅子対応トータルボディトレーナーは、様々なモビリティデバイス、または標準的な椅子でも簡単に使用できるように設計されています。

この卓越した包括性と汎用性により、心臓リハビリ患者から高齢者、障害のある人まで、すべてのユーザーのための特別な理学療法の要求を満たすのに理想的なトレーニングマシンとなっています。

ACCESSORIES

リストスタビリティストラップ



カイザーM7i車椅子対応トータルボディトレーナーのリストスタビリティストラップは、運動中にユーザーが不安定に感じる場合に車椅子または標準の椅子を固定するように設計されています。ループをハンドルの上に置く前に、マジックテープで腕と手首にストラップを固定すれば、ハンドルを握ることが出来ないユーザーでも腕で引いたり押したりすることができます。

フットスタビリティーストラップ & レッグスタビライザー



カイザーM7i車椅子対応トータルボディトレーナーのフットスタビリティーストラップは、トレーニング中、所定の位置に脚を維持するのに役立ちます。 さらに、レッグスタビライザーは、車椅子で運動するときに適切な脚の位置合わせと位置を保証します。

FEATURES

- 車椅子のまま、乗り換えることなく運動が可能（介護者の負担を軽減）
- 驚くほどスムーズで静かな動きを再現
- KEISER Mシリーズの渦電流磁気抵抗（非接触式）
- 股関節を軸として設計された自然な楕円動作
- とても少ない抵抗から運動が可能な低負荷設計
- 上半身、下半身をリンクさせることによる受動的な補助運動が可能
- 各関節への衝撃が少ない低インパクト運動
- 運動結果の正確なモニタリング
- クラス最小のサイズと移動操作性
- 車椅子以外の標準的な通常の椅子でも運動が可能
- 大きな文字と高いコントラストで一段と見やすくなったパワーディスプレイ





仕様：

高さ
44.75" / 113.60mm

幅
27.75" / 704.85mm

長さ (HANDLES IN)
36.5" / 927.10mm

長さ (HANDLES OUT)
48.5" / 1231.90mm

重量
150 lbs / 38.56 kg

KEISER
アンチエイジング:

力を身につけ、
いくつになっても
健康を。

動きにもっとスピードを
心肺機能にもっと力を
もっとパワーのある筋肉を
骨密度をもっと高く
ボディバランスをより高く
関節にもっと柔軟性を
体脂肪をもっと少なく



日本では65歳以上の人が3357万人います。（2018年）

2040年には65歳以上の人が3868万人を超えると予想されています。

“力を生み出す能力の喪失が、高齢者の転倒の防止を考える際の決定的要因のひとつであることは間違いありません。RFDは姿勢の揺らぎのコントロールの能力と直接関係し、例えば、つまずいた際に転倒を避けるなどの重要性を持っていることが、分かっています。”
（Carlos Balsalobre、Pedro Jiménez『筋力トレーニング』）